

2019年の「いきいき茨城ゆめ国体」を控え、マウスガードの普及やスポーツデンティストの育成に乗り出している荻野義重先生を訪ね、話を伺った(聞き手は高城勇揮・歯科広報部長)。

— スポーツ歯科とはどういうものですか？ また、スポーツデンティストの役割は？

スポーツ歯科は、1990年のFDI(国際歯科連盟)シンガポール大会で、「すべてのスポーツ競技を通じて適切なスポーツ活動の選択、助言、診査、管理、監督と、また必要に応じて治療を行い、さらに専門的情報を提供することを目的とする特別な歯科医学の部門である」と提言されました。そして、スポーツデンティスト(SD)はスポーツドクターやコーチ等と緊密な連携を取って、歯科医師の立場からスポーツに関わる方々の健康管理、スポーツ障害、スポーツ外傷の診断・予防・治療・研究にあたっています。

日本では、2015年4月に日本体育協会公認SDとして、私も含めて全国で67人が初めて認定されました。SDの認定は毎年各県から2、3人に限られるため、茨城県歯科医師会では19年の茨城国体を見据え、茨城県版の「いばらきSD」の育成に乗り出しています。今年4月1日付けで51人が認定されました。国体では救護所への派遣などに60～70人のボランティアのSDが必要とされています。

— 実際には選手に対しどのような歯科的サポートをしますか？

競技種目によってはマウスガードの装着が義務化されています。歯科医院で作製されたマウスガードでも、形態が不良だったりして装着を諦めている選手もいます。そのようなことがないように、茨城県歯科医師会では16年ころからマウスガード講習会を開催し、日本スポーツ医学会の基準に沿ったマウスガードの製作実習を行っています。

— マウスガードとマウスピースの違いは？ また、選手が最高のパフォーマンスを発揮するために、競技によって素材が変わりますか？

マウスガードは、スポーツ選手が口の中に入れて使用しているもの。マウスピースは、一般的には音楽、特に管楽器を演奏する方が咥える部分

を言います。また、ダイビングをする方のレギュレーター(空気を吸い込むため口に咥える部分)もマウスピースと呼ばれます。

マウスガードは装着することでパフォーマンスを引き出すというものではありません。アスリートの中にはしっかり噛むよりあまり噛み合わせをしないほうが、力を出せる競技もあります。たとえば、重量挙げの選手は、挙げるときは口を膨らませて噛んでいないのです。

現在広く普及しているマウスガードの素材はEVAという素材で、靴の裏やサンダルなどにもこの素材が使われています。堅さはメーカーにより違いはありますが、ソフト、ミディアムに分かれています。

— SDは一般市民のスポーツ愛好家にも役立ちますか？

一般市民のスポーツ愛好家も十分にSDを活用してください。生涯スポーツで健康に動けると医療費削減につながる事が分かっています。口腔内のケガによって歯が抜けたり折れたりすることもあります。予防のための適切なアドバイスもできます。

— 印象に残るアスリートとのエピソードがありましたら、お聞かせください。

マウスガードを使用されている方ではありませんが、スキーヤー、冒険家として知られる三浦雄一郎さんです。私が中学生の時に志賀高原のスキー場で、スノードルフィンというスキースクールを開校していた時に始めて名前を知りました。その後、富士山直滑降、エベレスト直滑降と、普通のスキーヤーは決して行わない冒険をされました。私の高校時代、スキー部の合宿が八甲田山で行われ、宿泊した酸ヶ湯温泉で初めて三浦雄一郎さんとお話をさせていただく機会があり、サイン色紙をいただきました。それから40年後、80歳でエベレスト登頂を終え、土浦協同病院が主催したお祝いの会の後の懇親会で再びお話できたことが何



1983年東北歯科大学(現・奥羽大学歯学部)卒業。1986年荻野歯科医院開設。1990年スポーツ歯学研究会(現・日本スポーツ歯科医学会)入会、2015年日本体育協会スポーツデンティスト認定。現在、土浦石岡歯科医師会会長。

よりでした。

三浦さんは80歳を超えてもいまだに冒険家であり、口腔内の管理も定期的に行っておられます。エベレスト下山途中かなり体力を消耗しても、ベースキャンプのテントの中で娘さんが作ったクッキーを食べることができて体力が回復したと話しておられました。三浦雄一郎さんのお父様、三浦敬三さんは99歳でモンブランの水河バレー・ブランシュを滑走して、100歳ではアメリカのスノーボードを親子孫曾孫の4世代でスキーをしたそうですが、実は総義歯だったとのこと。玄米などをしっかり噛んで食べ、そして、なんとすべてご自分で食事を作っていたということです。

歯科医師として100歳の方の総義歯を作ることはないと思いますが、噛める入れ歯を作ることも、また、歯を失くさないように予防していくことも永遠のテーマです。

— 競技中のケガを防ぐためにもSDが期待されていますね。私の患者さんにもレスリング部の高校生がいるので、より良いマウスガードを勉強して作ってあげようと思います。

建設委員会 だより

協会では1月以降、建設委員会やコンペティションを開催し、会館建築業者の選定を進めています。

また、建築費の大半は銀行からの融資を予定しており、3月15日には筑波銀行と県信用組合への相談を行いました。いずれの金融機関からも融資には前向きに対応するとの回答を得ています。

建築業者を書類審査、コンペで選定 銀行融資相談も

2019年10月には消費税10%への増税が予定されており、建築関係の経過措置として、19年3月31日までに請負契約が完了すれば、増税前の税率が適用されることになっています。

請負契約の締結は十分に間に合う予定で計画を進めています。

今後とも建設の進捗状況は本紙でお知らせいたします。